議会だより 第6号

第3回9月定例会

「球磨郡公立多良木病院」国民健康保険診療施設へ

平成26年第3回（9月）定例会が9月9日から17日までの9日間の会期で開催され、条例6件、報告1件、26年度各会計補正予算6件、25年度各会計決算8件などが提案され、慎重に審議された結果、原案どおり可決・認定されました。

球磨郡公立多良木病院企業団が、来年4月1日から国民健康保険診療施設（国民健康保険法第82条の規定による保健事業を行う施設）に移行するための規約の一部変更についても全会一致で可決され、併せて、本村の古屋敷診療所も同施設へ移行することになりました。

また、一般質問には、2名の議員が登壇し、執行部への考えを質しました。

国民健康保険診療施設とは
医療サービスの提供にとどまらず、地域包括医療・ケアの実践という付加価値をつけ、地域住民に保健・医療・福祉（介護）サービスを一体的に提供する施設。



《村長諸般の報告》

○新型インフルエンザ等行動計画を策定

新型インフルエンザ等の発生時において、感染拡大を可能な限り抑制し、村民の生命及び健康を保護するとともに、村民生活・経済に及ぼす影響が最小となるようにすることを目的として策定。

○金婚式、ダイヤモンド婚式の表彰

金婚式（結婚50年）15組、ダイヤモンド婚（結婚60年）8組

○**地域密着型小規模特別養護老人ホーム「桜なみき」が完成。**

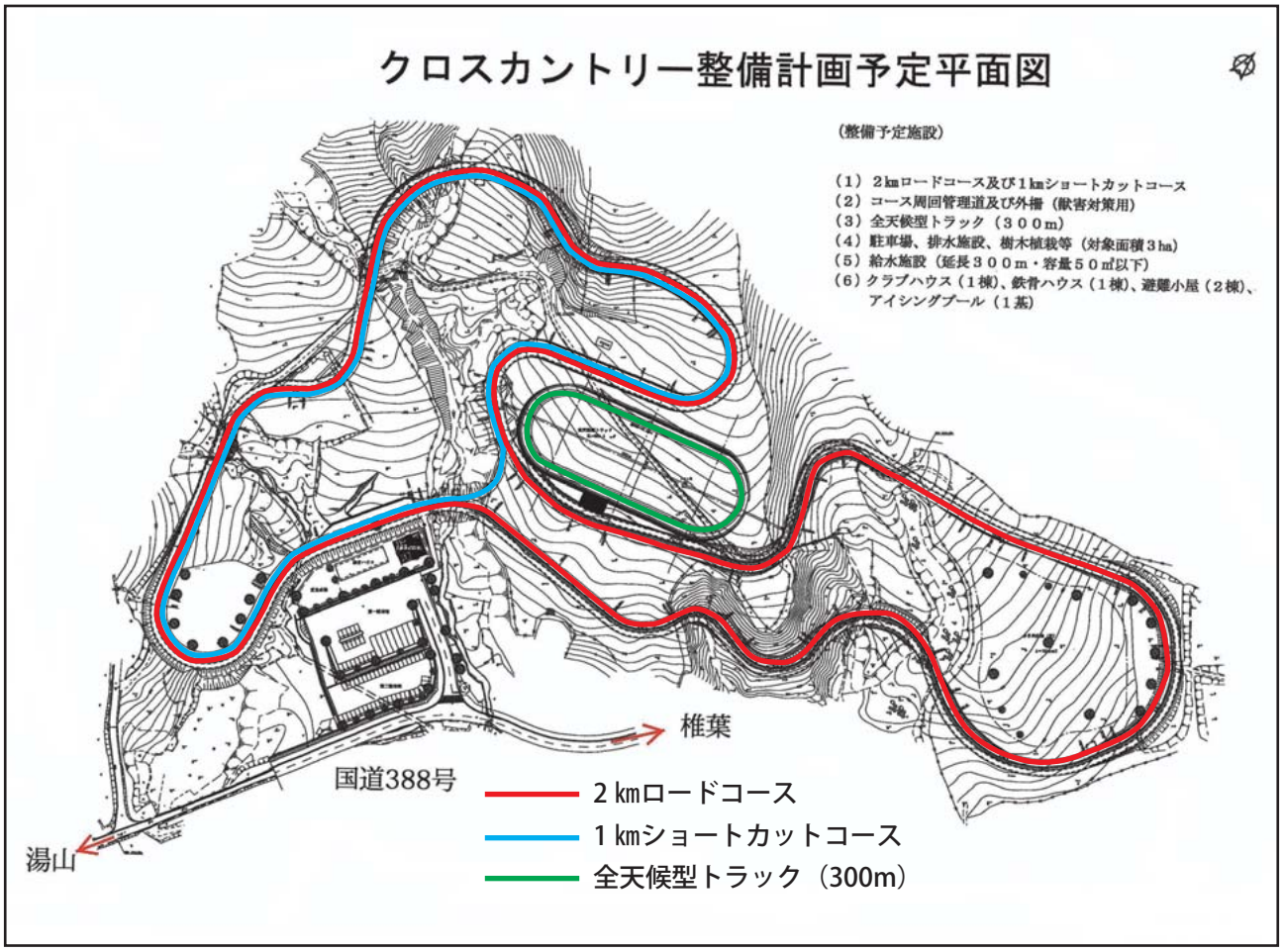
8月30日に落成式が行われ、9月1日より開業。全室個室ユニットで29室を完備。



桜なみき

○**クロスカントリー整備計画予定平面図が完成**

本村が宮崎県との県境沿いの矢立原牧場跡に計画している「クロスカントリー整備計画予定平面図」が完成した。監修はトヨタ自動車九州の森下広一監督と九州学院高校の禿（かむろ）雄進監督。



《教育長諸般の報告》

○**村内小・中学校教職員の視察研修**

村内に点在する文化財等（猫寺・千人塚古墳・ゴイシツバメシジミなど）の視察研修を実施。

《条例》

○**水上村立古屋敷診療所設置条例の一部を改正する条例の制定について**

球磨郡多良木公立病院企業団が、来年4月1日から国民健康保険診療施設に移行することから、古屋敷診療所においても同施設へ移行するものです。

○**水上村国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について**

古屋敷診療所を国民健康保険診療施設へ移行するため、必要な事項を定めるものです。

○**水上村立保育所条例の一部を改正する条例の制定について**

子ども・子育て支援法第20条の規定に基づき、「保育の必要性の認定」のための客観的基準として「保育の必要性の基準」を定めるものです。

①ひと月において、４８時間以上労働することを常態とすること。
②妊娠中であるか又は出産後間がないこと。
③疾病にかかり、若しくは負傷し、又は精神若しくは身体に障害を有していること。
④同居の親族（長期間入院等をしている親族を含む。）を常時介護又は看護していること。
⑤震災、風水害、火災その他の災害の復旧に当たっていること。
⑥求職活動（起業の準備を含む。）を継続的に行っていること。
⑦その他


岩野保育所

○水上村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

本村における特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業において、良質かつ適切な内容及び水準の特定教育・保育又は特定地域型保育の提供を行うことにより、すべての子どもが健やかに成長するために適切な環境が等しく確保されることを目指すものです。（詳しくは役場住民福祉課℡４４－０３１３まで）

○水上村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

本村における家庭的保育事業等において、乳幼児が、明るく衛生的な環境において、素養があり適切な訓練を受けた職員から保育の提供を受けることにより、心身ともに健やかに育成されることを保障するものです。（詳しくは役場住民福祉課℡４４－０３１３まで）

○水上村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

本村における放課後児童健全育成事業において、放課後健全育成事業を利用している児童が、明るくて、衛生的な環境において、素養があり、かつ、適切な訓練を受けた職員の支援により、心身ともに健やかに育成されることを保障するものです。（詳しくは役場住民福祉課℡４４－０３１３まで）

《予算》

○平成26年度水上村一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出予算の総額に７，３１２万円を追加し、総額を２７億５１６万円とするものです。

歳出の主なものは、クロスカントリー整備実施設計委託料２，３００万円、７月の梅雨前線豪雨による江代地区の林道梅木鶴線災害復旧工事１，６００万円などを追加計上しました。

○平成26年度水上村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算の総額に５１万円を追加し、総額を３億６，３９３万円とするものです。

○平成26年度水上村介護保険特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算の総額に１，４７５万円を追加し、総額を３億４，６９９万円とするものです。

○平成26年度水上村簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算の総額に３００万円を追加し、総額を４，５７３万円とするものです。

○平成26年度水上村農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に１０３万円を追加し、総額を６，１８３万円とするものです。

○平成26年度水上村下水道事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に６９万円を追加し、総額を３，８９９万円とするものです。

《決算認定》

○平成25年度水上村一般会計歳入歳出決算認定

○平成25年度水上村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

○平成25年度水上村介護保険特別会計歳入歳出決算認定

○平成25年度水上村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

○平成25年度水上村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定

○平成25年度水上村農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定

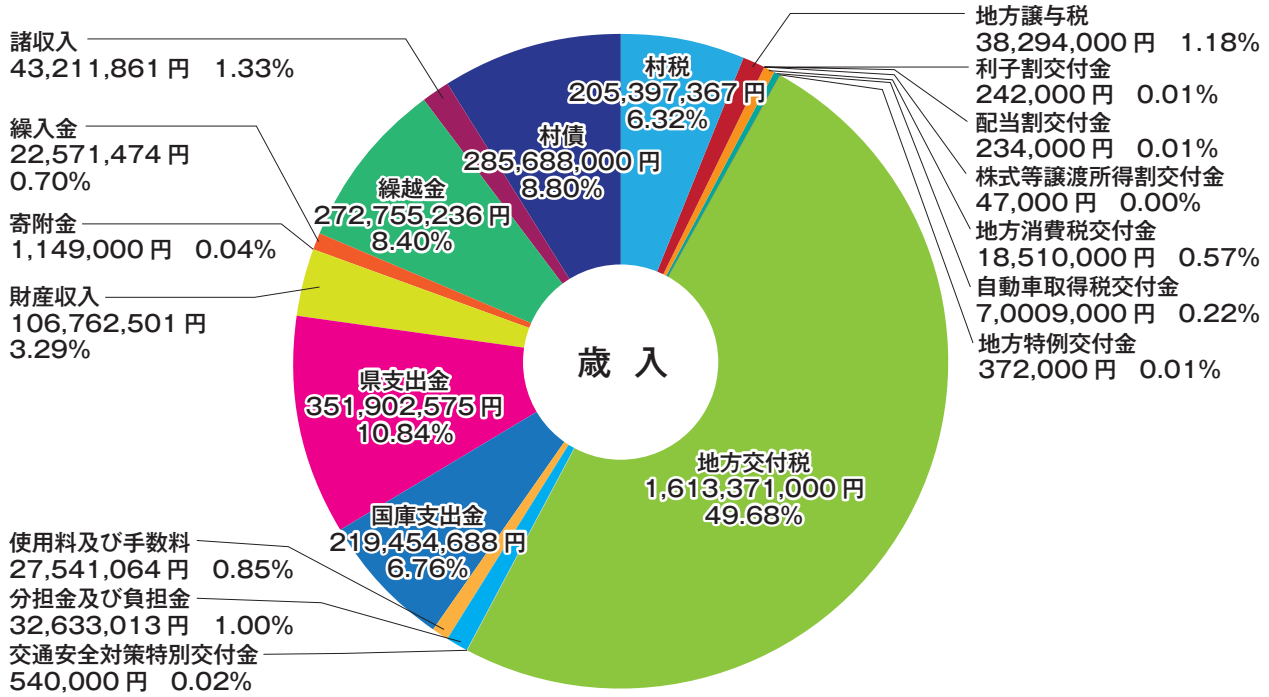
○平成25年度水上村林業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定

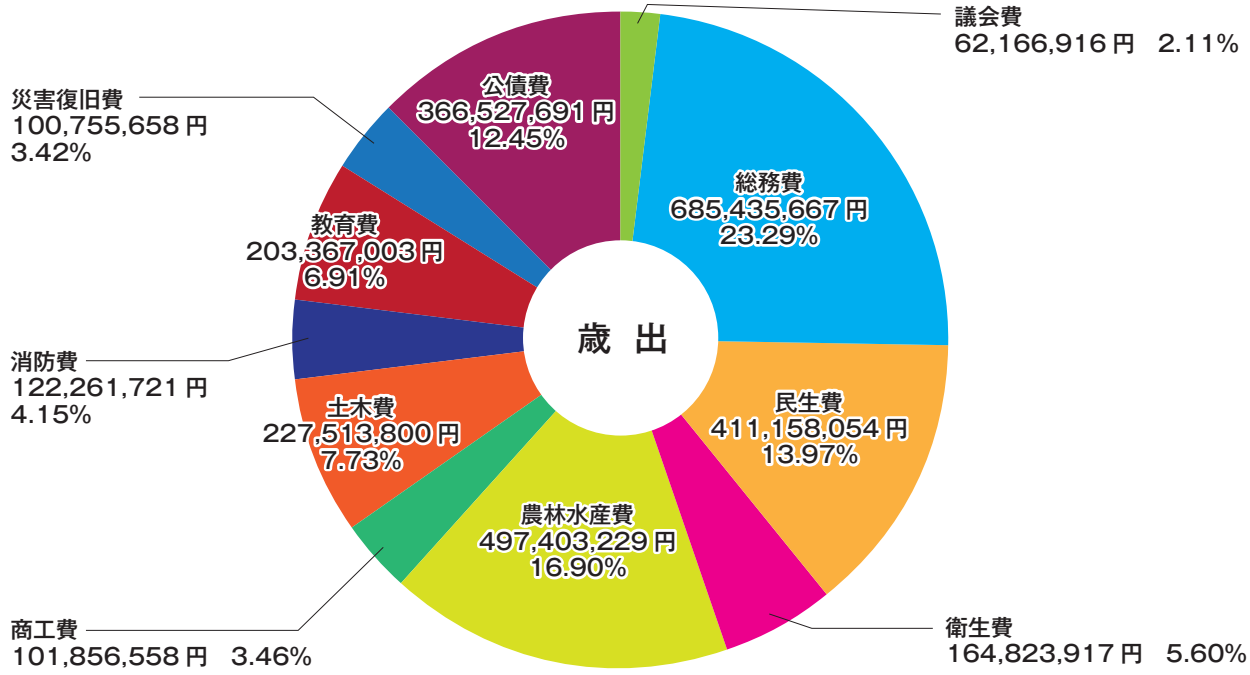
○平成25年度水上村下水道事業特別会計歳入歳出決算認定

いずれも審議の結果、原案どおり認定されました。

9月定例会の決算審議において不穏当な発言があり、議会全員協議会を開催。その後、本会議において陳謝し、不穏当な発言を取り消す場面がありました。

平成25年度歳入歳出表　一般会計





平成２５年度　水上村会計別決算総括表

（単位：円）

会計別	区分	予算現額	決算額	予算現額に対する決算額比較増減額（繰越明許費を含む）	予算現額に対する決算額の比較（%）
一般会計	歳入	3,095,974,000	3,247,685,779	151,711,779	104.90%
	歳出	3,095,974,000	2,943,270,214	△ 152,703,786	95.07%
	歳入歳出差引残額		304,415,565		
国民健康保険特別会計	歳入	374,170,000	379,637,052	5,467,052	101.46%
	歳出	374,170,000	345,290,465	△ 28,879,535	92.28%
	歳入歳出差引残額		34,346,587		
介護保険特別会計	歳入	454,436,000	325,000,618	△ 129,435,382	71.52%
	歳出	454,436,000	296,269,958	△ 158,166,042	65.20%
	歳入歳出差引残額		28,730,660		
後期高齢者医療特別会計	歳入	29,572,000	29,242,121	△ 329,879	98.88%
	歳出	29,572,000	28,556,975	△ 1,015,025	96.57%
	歳入歳出差引残額		685,146		
簡易水道事業特別会計	歳入	44,100,000	44,354,072	254,072	100.58%
	歳出	44,100,000	39,811,151	△ 4,288,849	90.27%
	歳入歳出差引残額		4,542,921		
農業集落排水事業特別会計	歳入	51,954,000	52,036,619	82,619	100.16%
	歳出	51,954,000	50,533,274	△ 1,420,726	97.27%
	歳入歳出差引残額		1,503,345		
林業集落排水事業特別会計	歳入	9,100,000	9,073,200	△ 26,800	99.71%
	歳出	9,100,000	8,630,145	△ 469,855	94.84%
	歳入歳出差引残額		443,055		
下水道事業特別会計	歳入	48,750,000	48,736,831	△ 13,169	99.97%
	歳出	48,750,000	47,742,125	△ 1,007,875	97.93%
	歳入歳出差引残額		994,706		
総合計	歳入	4,108,056,000	4,135,766,292	27,710,292	100.67%
	歳出	4,108,056,000	3,760,104,307	△ 347,951,693	91.53%
	歳入歳出差引残額		375,661,985		

7月15日開催 第2回臨時会

《報告》

○平成26年度水上村財政健全化判断比率の報告について

財政健全化法に基づき監査委員の意見を付して報告があり、いずれも早期健全化基準を下回っており良好と認められました。

《予算》

○平成26年度水上村一般会計補正予算（第3号）

歳入歳出予算の総額に140万円を追加し、総額を26億3，120万円とするものです。

7月の梅雨前線豪雨による江代地区の林道梅木鶴線災害復旧に係る測量設計調査委託料を追加計上しました。

《その他》

○議員派遣の件について

○継続審査申出書について

8月26日開催 第3回臨時会

《予算》

○平成26年度水上村一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出予算の総額に84万円を追加し、総額を26億3，204万円とするものです。

8月の台風12号による岩野地区の林道白蔵峠線災害復旧に係る測量設計調査委託料などを追加計上しました。

《その他》

○工事請負契約の締結について（村道片地横才線道路災害復旧工事）

請負金額1億6，200万円（丸昭建設株式会社）工期（平成26年8月26日から平成27年3月20日）

○継続審査申出書について

一般質問



那須 正弘　議員

村政運営評価について

問 選挙において掲げた5項目のマニフェストの実績は。

①対話と協調の精神

②自然を活かした村づくり

③地場産業の活性化、若者定住促進

④無公共交通地域への交通の確保

⑤基礎自治体としての役割の再認識

答 廣瀬村長　対話と協調については、就任以来、各種会合等に参加して話を聴き、各業種からの意見も施策に反映させている。

自然を活かした村づくりについては、古屋敷運動広場の農業用水を利用した小水力発電での街路灯計画、水資源プロジェクトチームによる「みずかみ村の水」と物産の組み合わせによって付加価値を付け販売する計画。そして自然を活かしたいという観点から、クロスカントリーコースの開設にも着手している。

地場産業の活性化については、畜産業における更新牛への補助、商工業においては、使い勝手の良い商工業施設整備補助金として見直した。中山間地域以外への獣類被害防止ネット補助、個人の林業従事者への機械購入時の補助も実施。また、若者定住施策として新築祝金に加え、増改築・既存住宅購入にも対応できるように改正し、宅地分譲においては、4区画を分譲（3区画売却済）し、また入居基準の緩和策として公営住宅建設から一般住宅建設へシフトした。

無公共交通地域の交通の確保については大変難しい問題だが、本年度熊本県立大学と連携して調査検討するよう申し入れをしている。この件については、具体的な方策を示すことが出来なかったが、残り8ヶ月で実施に向け全力を注ぎたい。

一方、人吉球磨広域行政組合の理事会では、くま川鉄道湯前駅から



市房キャンプ場付近までのアクセスについて、組合一体となって取り組みたい意向である。

基礎自治体としての役割の再認識については、住民にきめ細やかなサービスを提供することだと考える。各地域の公民館改修事業に伴うバリアフリー化、冷暖房設備。社会福祉協議会に委託している縁側事業として「ふれあい会」も実施している。また、介護待機者が多いことから地域密着型小規模特別養護老人ホームを誘致。子どもの健康を守る施策として本年度2学期から村内小中学生に虫歯予防のためのフッ化洗口を実施している。更に地域住民の安全・安心を守るため、江代地区に防災拠点施設を開設し、消防団の後方支援として女性消防隊を組織した。



ふれあい会の様子

副村長について

問 **人口が2，300人になろうとする過疎の村で、副村長を置くことに疑問があった。副村長就任時に年収の2倍、3倍の効果を発揮させると答弁されたがどのような効果があったか。**

答 **廣瀬村長**　副村長の権限は、法律改正により以前の助役より強化され、村長の命を受けて政策・企画を司り職員の事務を監督する。また、村長の権限に属する事務のうち、委任を受けたものは執行できるなど規定の文言が追加された。具体的に言うと入札に関しては、業者の指名、予定価格5，000万円以下の決定、そのほか市房ダム湖周辺整備計画の策定、中長期にわたる村の振興計画についても指示している。また、シルバー人材センター理事長、社会福祉協議会副会長にも就任し、庁舎のみならず庁外組織への関与も行っている。2倍、3倍の効果については、金銭に換算してではなくそのような効果があると発言したもの。

問 **副村長を置かなくても、課長会に対して条例で規定することより権限を委譲することができるのでは。また、就任したことによるトップマネージメント補佐機能の充実、行政事務チェック機能の確立についての説明を。**

答 **椎葉副村長**　職員でもできる事務はあると理解しているが、地方公務員の身分であるため出来ない面もある。村長の補佐については、市房ダム湖周辺整備計画策定の指示があり、職員の企画を中心に取りまとめた。政策・企画の面では一つの実績だと思っている。職員の管理・監督については私なりに行ってきた。

その他の質問事項

○職員配置等について
○第三セクターについて

一期目の廣瀬村政について



立尾　一喜　議員

問 **3年半の相対的な自己評価は。また、2040年の890超の自治体消滅の事案に対する見解及び住民からの要望（区長会・座談会等）に対する対応についてはどのようになっているか。**

答 **廣瀬村長**　自己評価もあるが、議会、それから村民の皆様に委ねたい。また、発言が果たして正解だったか、質問に対しても意を酌んだ答弁が出来たかなど反省の日々である。

890超の自治体消滅の事案については、2014年5月に日本創成会議の人口減少問題検討分科会が発表したもので、成長を続ける21世紀のために「ストップ少子化」、「地方元気戦略」として報告されたもの。この消滅町村のシミュレーションについては、真摯に受け止め、消滅しない施策等の展開が今後必要であると考える。提言書の中身も踏まえ、国・県にも相談しながら取り組んで行きたい。

住民からの要望については、区長会での要望が多いように感じるが、要望があれば出来ることは叶えてあげたいというのが基本姿勢である。



消滅可能性自治体（消滅可能性都市）とは

子どもを産む人の大多数を占める「20～39歳の女性人口」が、2010年からの30年間で5割以上減る自治体。全国の1800市区町村（政令市の行政区を含む）中の49．8％にあたる896自治体が該当。県内では45市町村のうち26市町村（本村含む）が該当。

集客について

問 クロスカントリーコースの設置が計画されているが、旅館・民宿だけではなく農林業と連携した取り組みの考えは。

答 **廣瀬村長**　今回は合宿による集客に取り組みたいことから、第一に宿泊施設として旅館・民宿に協力いただかねばならない。農林業の取り組みとしては、水の上の学校等でメニューを揃えている。他にもJAが主体となり熊本市の産婦人科病院と無農薬米の契約をいただき、田植え・稲刈りツアー、更に交流も行われている。また、林業の方策としては、応募型の「企業の森」を企業に向けに周知している。旅館組合自ら農林業体験などをメニューに入れる考えをお持ちであれば、村として強力にバックアップしていきたい。

問 **合宿を視野に入れたキャンプ場の整備、研修棟を宿泊可能な施設に改修する考えは。**

答 **廣瀬村長**　旅館・民宿の利用を最優先とするが、収容人数の問題もある。市房山キャンプ場利用の可能性も考え、研修棟にシャワー室・トイレ等の整備、そして現在整備をすすめているバンガロー、市房山キャンプ場全体をイメージ化し、改修等が必要か精査し取り組んでいく。



市房山キャンプ場

議会を傍聴してみませんか　**次回の定例議会は12月です**

（手続は住所・氏名を書くだけです）　詳しくは議会事務局℡ 44-0319 まで

編集後記

近年、大規模な自然災害が日本各地で起こっている。9月27日には木曽の御嶽山が噴火し、57名が亡くなられた。亡くなられた皆様のご冥福と、行方不明の皆様の一日も早い発見を心よりお祈り申し上げます。

本村でもいつ大災害が起きるかわからない。これを踏まえ、11月2日に水上村総合防災訓練が実施されることになった。この訓練は村民、消防団のみならず、国土交通省、熊本県、城南ブロック消防本部、熊本県警、自衛隊などとの大がかりな合同訓練となる。今回は江代地区を中心に行われるが、今後、各地区でも行われる予定。防災意識を高めるためにも多くの方々に参加していただきたい。

米本　宗徳

57名（10月24日現在）



平成19年9月実施の熊本県防災訓練

広報特別委員会

委員長　小野　賴年

副委員長　米本　宗徳

委員　荒嶽　晋

米良　哲